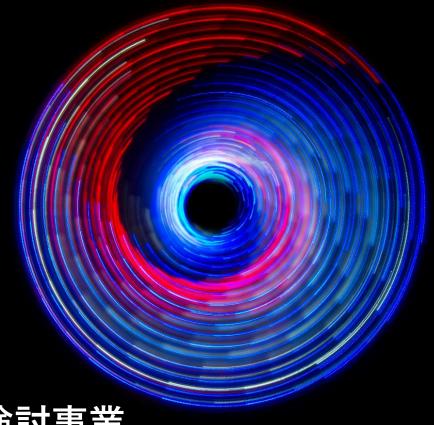
Deloitte。



空飛ぶクルマ社会実装検討事業

・山梨県版ビジネス環境調査委託業務の報告

【講演資料 < やまなし空のモビリティフェス ~ ビジネス参入セミナー ~>



自己紹介

講演者紹介



土屋 健太郎 (つちや けんたろう) デロイトトーマツ コンサルティング合同会社 産業機械・建設ユニット 航空宇宙・防衛セクター シニアコンサルタント

- 主に航空宇宙・防衛分野の民間企業・官公庁に対し、事業戦略策定等の幅広いコンサルティングサービスを提供
- 機体開発等のモノづくりのみならず、運航・輸送サービス、離着陸ポート/保険といった幅広い分野の 事業構想・事業戦略策定支援のほか、政府機関との実証実験等、横断的に支援
- 今年度、山梨県様より受託した本業務(空飛ぶクルマ社会実装検討事業・山梨県版ビジネス環境 調査委託業務)のプロジェクトリードを務める

1 本業務の概要

2 山梨らしいコンセプトづくりのための基礎調査等の実施結果

3 山梨県版空飛ぶクルマ社会実装に向けた将来ビジョン

4 おわりに



2) 山梨らしいコンセプトづくりのための基礎調査等の実施結果

3) 山梨県版空飛ぶクルマ社会実装に向けた将来ビジョン

4) おわりに

本業務は、山梨県における空飛ぶクルマの社会実装を目指した将来ビジョン/ロードマップの策定を通じて、山梨県における「空の移動革命」実現に向けた道筋をつけることが目的

本業務の背景と目的

本業務の背景

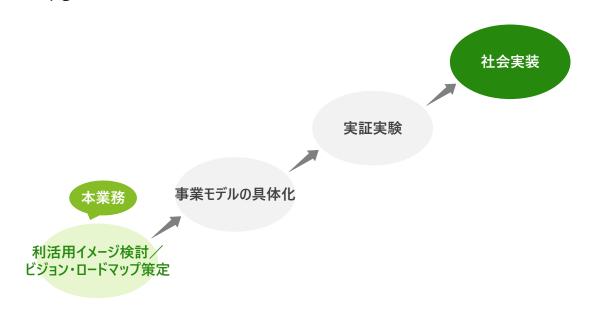
- 山梨県は、2025年大阪・関西万博での実用化に向けた検討が進む空飛ぶ クルマに関して、過疎地域の交通や救急医療、災害救助等の地域課題の 解決や、観光レジャー等の新たなビジネス創出等を期待し、県内での社会 実装に向けた検討を進めている
- 具体的には、「リニアやまなしビジョン」において、「次世代モビリティ」の文脈で、 リニア駅と在来線駅間の接続や、交通空白地域や交通不便地域における 足の確保が特に期待されている
- その他、山梨県は、リニアがある山梨が目指す姿として、「テストベッドを突破口に最先端技術で未来を創るオープンプラットフォーム山梨」を掲げ、空飛ぶクルマ含むエアモビリティに係る取組を行う



山梨県は地域課題の解決、及び新たなビジネス創出等を期待し、 空飛ぶクルマの社会実装に向けた取組を開始した段階

本業務の位置づけと目的

■ 山梨らしい空飛ぶクルマに係るコンセプトづくり(将来ビジョンやロードマップの策定)を通じ、山梨県における「空の移動革命」の実現に向けた道筋をつける



本業務を通じて山梨県における「空の移動革命」に向けた 「アクションの土台作り」を行い、次年度以降具体的な取組・施策を展開



本業務は「基礎調査」・「将来ビジョンの策定」・「ロードマップの策定」の3つの検討タスクを推進し、次年度以降の山梨県における空の移動革命に向けたアクションの土台作りを行った

本業務の検討タスク(全体像)

山梨らしいコンセプトづくりのための 基礎調査

山梨県としての空飛ぶクルマの 活用可能性・将来ビジョン等の検討に 資する基礎情報から国内外の空飛ぶクルマ に係る取組動向等を調査

山梨県の地域特性の調査

山梨県周辺の移動実態の調査

山梨県のエアモビリティ活用の現状整理

国内外の空飛ぶクルマの社会実装に向けた取組 /実証飛行の事例の調査

:

山梨県版空飛ぶクルマ社会実装に向けた 将来ビジョンの策定

(前段の調査結果等も踏まえた) 山梨県として実現を目指す空飛ぶクルマの 利活用・社会実装に係る 将来ビジョンを検討・具体化

将来ビジョンの検討・具体化

社会実装に向けたステップ整理

:

将来ビジョンの実現に向けた ロードマップの策定

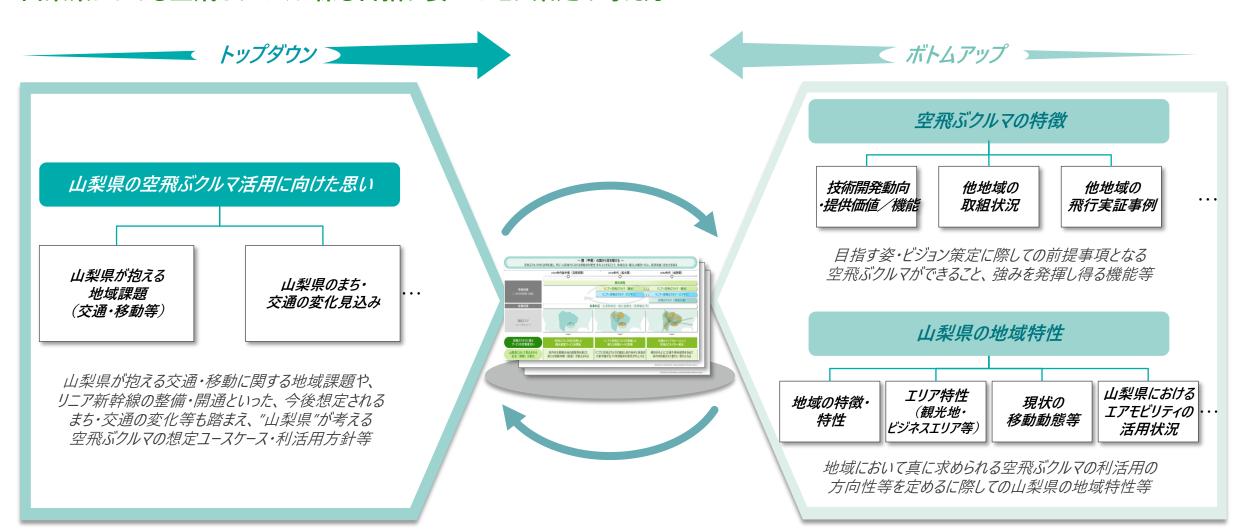
将来ビジョンの実現に向けて取り組むべき アクションとロードマップの検討・整理

山梨県が取り組むべきアクションの整理

ロードマップの検討・整理

:

本日のご説明範囲

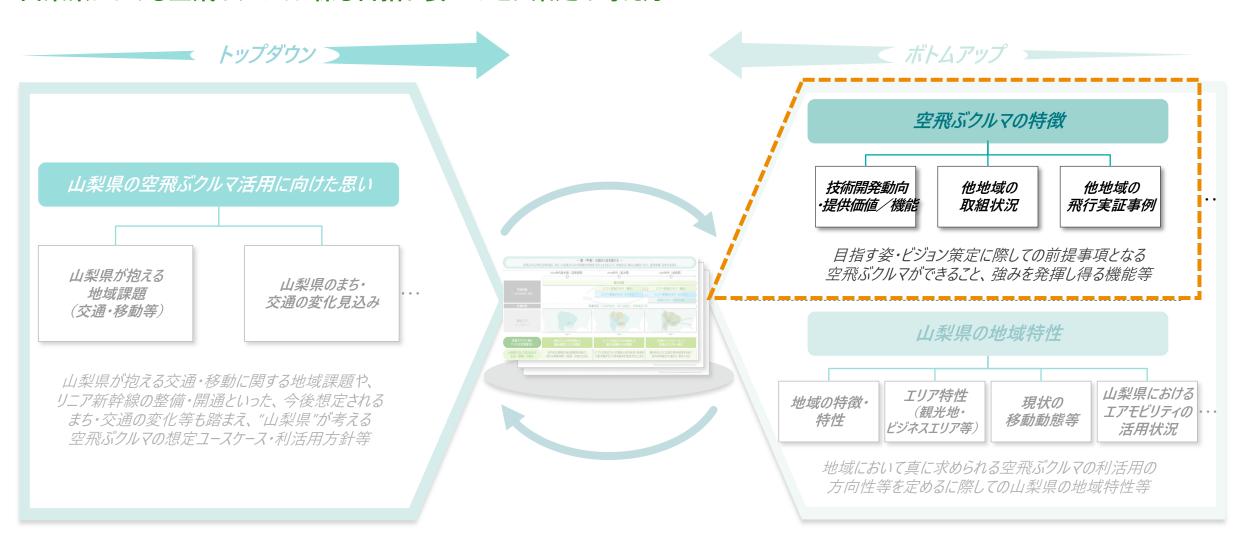


1) 本業務の概要

>>> 2 山梨らしいコンセプトづくりのための基礎調査等の実施結果

3) 山梨県版空飛ぶクルマ社会実装に向けた将来ビジョン

4) おわりに



山梨県としての目指す姿・ビジョン策定に際しての前提事項となる 空飛ぶクルマができること、強みを発揮し得る機能等を調査

空飛ぶクルマの特徴に関する調査・検討結果

空飛ぶクルマの技術開発動向・提供価値/機能







他地域の取組状況





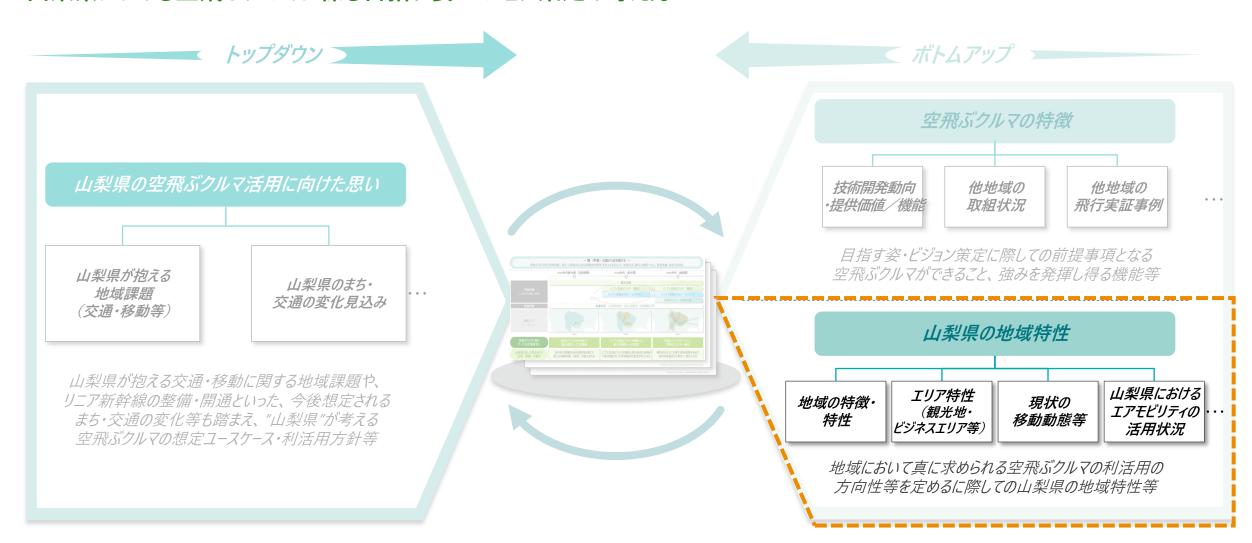


他地域の飛行実証事例









山梨県は地形特性もあり鉄道網や高速道路網の範囲が限定的であり交通不便地域が 多数存在。他方、観光の面に着目すると魅力的な観光資源・施設が存在

山梨県の地域特性サマリ

地域特性 (概要図) 一部区間が 中央自動車道 農業や物流分野で 未開通で脆弱 ドローンが活用 JR中央本線 甲府盆地 非公共用ヘリポート 甲府駅 が立地 □ 大月駅 上野原駅 交通不便地 渋滞が深刻 果物・ワイン 生産が盛ん 富士急行線 産業用ロボット リニア中央新幹線 メーカー等が所在 観光業が盛ん (予定ルート) 富士山 JR身延線 中部横断自動車道

地域特性



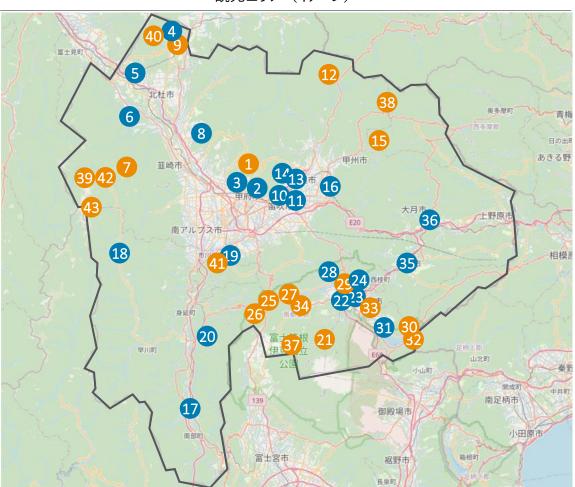
出典:各種公開情報(山梨県HP、総務省HP、国土交通省HP)より作成

12 講演資料 < やまなし空のモビリティフェス ~ ビジネス参入セミナー ~ >

観光地は甲府市やその東部の山梨市、笛吹市に加え、富士吉田市等、県内広域に広く点在している。また、山梨県は自然関連の観光地を多数有する

山梨県内の主要観光地

観光エリア(イメージ)



出典:各種公開情報(山梨県HP、環境省HP、国土交通省HP)より作成

観光エリア詳細

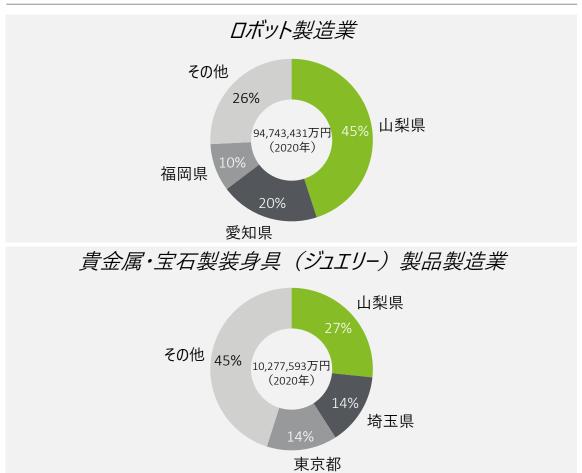
| # | 市町村名 | 名称 | # | 市町村名 | 名称 |
|----------|--------|-----------------|----|-----------|----------------|
| 1 | 甲府市 | 昇仙峡 | 23 | 富士吉田市 | 富士吉田市本町通り |
| 2 | 甲府市 | 武田神社 | 24 | 富士吉田市 | 新倉山浅間公園 |
| 3 | 甲府市 | 湯村温泉郷 | 25 | 富士河口湖町 | 精進湖 |
| 4 | 北杜市 | サンメドウズ清里 | 26 | 富士河口湖町 | 本栖湖 |
| 6 | 北杜市 | 星野リゾート リゾナーレ小淵沢 | 27 | 富士河口湖町 | 西湖 |
| 6 | 北杜市 | サントリー白州工場 | 28 | 富士河口湖町 | 大石公園 |
| 7 | 南アルプス市 | 北岳(南アルプス) | 29 | 富士河口湖町 | 富士山パノラマロープウェイ |
| 8 | 北杜市 | 明野のひまわり畑 | 30 | 山中湖村 | 山中湖 |
| 9 | 北杜市 | 清里高原 | 3 | 山中湖村 | 山中湖花の都公園 |
| 10 | 笛吹市 | 石和温泉 | 32 | 山中湖村 | 山中湖パノラマ台 |
| 1 | 笛吹市 | 桔梗屋(本社工場) | 33 | 忍野村 | 忍野八海 |
| 12 | 山梨市 | 西沢渓谷 | 34 | 鳴沢村 | 鳴沢氷穴 |
| B | 山梨市 | フルーツ公園 | 35 | 都留市 | よりみちの湯 |
| 14 | 山梨市 | ほったらかし温泉 | 36 | 大月市 | 猿橋 |
| 15 | 甲州市 | 大菩薩峠 | 37 | 富士吉田市 ほか | 富士箱根伊豆国立公園 |
| 16 | 甲州市 | 勝沼ぶどう郷駅周辺 | 38 | 甲府市 ほか | 秩父多摩甲斐国立公園 |
| 1 | 南部町 | 南部の湯 | 39 | 韮崎市 ほか | 南アルプス国立公園 |
| 18 | 早川町 | 慶雲館 | 40 | 北杜市 | 八ヶ岳中信高原国定公園 |
| 19 | 市川三郷町 | みたまの湯 | 41 | 市川三郷町 | 県立四尾連湖自然公園 |
| 20 | 身延町 | 身延山、下部温泉 | 42 | 韮崎市 ほか | 県立南アルプス巨摩自然公園 |
| 21 | 富士吉田市 | 富士山 | 43 | 南アルプス市 ほか | 南アルプスユネスコエコパーク |
| 22 | 富士吉田市 | 富士急ハイランド | | | |

・・・観光地点等分類表において「自然」に分類される地点

山梨県では、産業用ロボット及び貴金属・宝石の製品出荷額が全国1位。 また、日本ワインの生産量やぶどう・もも・すももの収穫量も全国1位

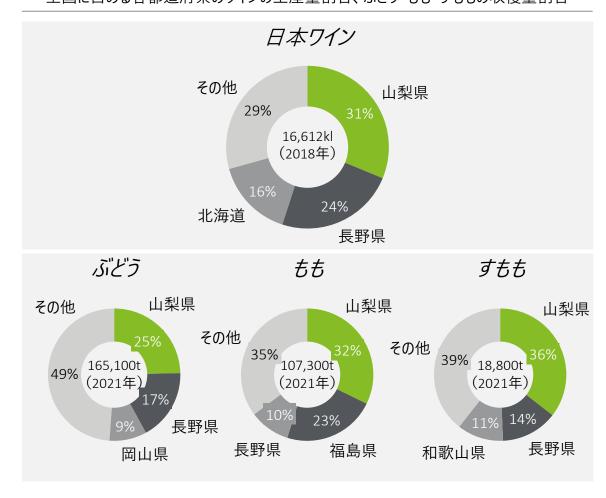
山梨県における主要産業の概要

全国に占める各都道府県の産業用ロボット及び貴金属・宝石の製品出荷額割合



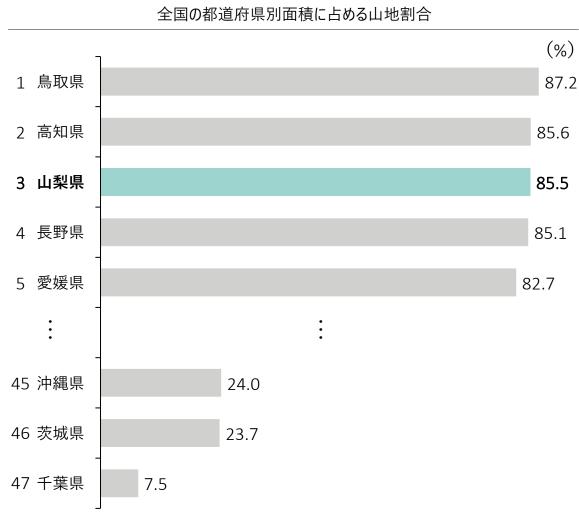
出典:各種公開資料(令和3年度経済センサス)より作成

全国に占める各都道府県のワインの生産量割合、ぶどう・もも・すももの収穫量割合



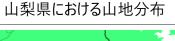
山梨県は全国的に見ても、県土に占める山地の割合が高く、長野県や静岡県、東京都、 埼玉県、神奈川県とまたぐ形で赤石山脈や関東山地等が存在

山梨県の県土に占める山地割合・分布

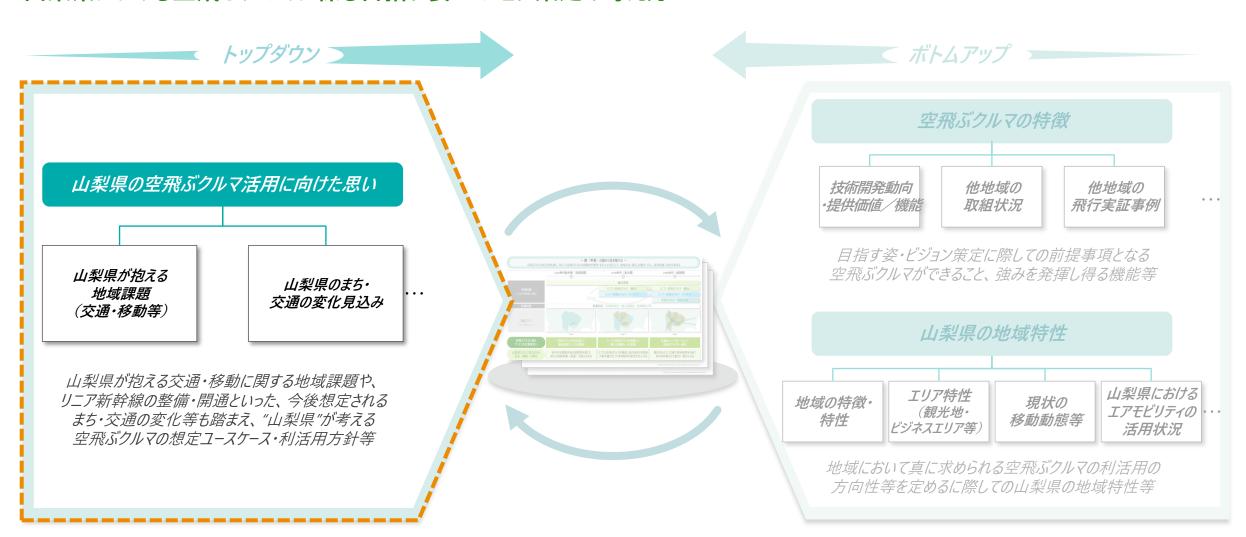


出典:各種公開情報(総務省統計局HP、国土交通省国土地理院)より作成

15 講演資料 < やまなし空のモビリティフェス ~ ビジネス参入セミナー ~ >

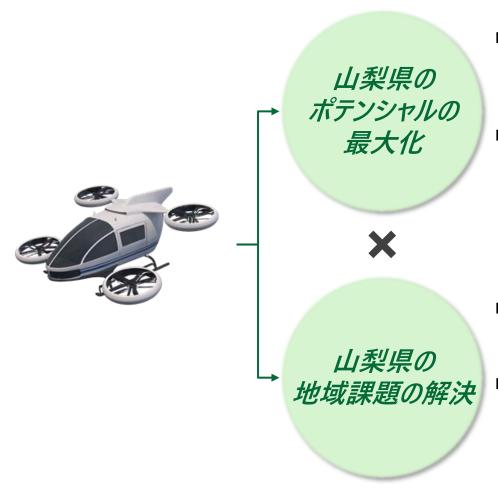






山梨県においては空飛ぶクルマの利活用を通じ、「山梨県が持つポテンシャルの最大化」と 「地域課題の解決」につなげることを大方針として掲げる

山梨県の空飛ぶクルマ活用に向けた思い(サマリ)



- リニア開業を控える山梨県においては"富士山をはじめとする観光資源を活かした 高付加価値化"や"地域特性(※)を生かしたテストベッドの聖地化"等に注力 (※半径50kmほどのコンパクトな地形、人口80万人弱という適度な規模感、 豊かな自然環境をはじめ多彩な実証フィールド、東京圏からのアクセス性の良さ等)
- 今後、**空飛ぶクルマとリニアの組み合わせ**により、 リニア山梨県駅と県内主要拠点間を結ぶ二次交通を拡充し、 県内のアクセス性を高めることで、そのポテンシャルを最大化することを見込む

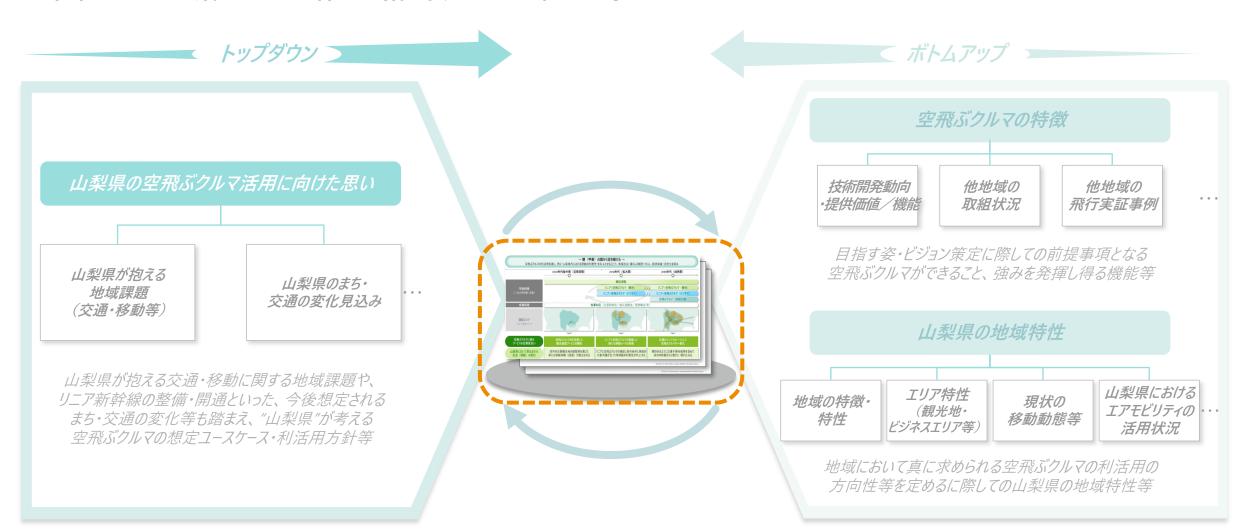
- 山梨県では公共交通の維持等(人口減少に伴う利用者減により公共交通は厳しい 状況にある一方で、高齢者の増加によりその果たすべき役割はより重要)、高い自動車利用率を誇るが故に、特に交通を取り巻く地域課題が顕著
- 空飛ぶクルマを活用することで、これら地域課題の解決を期待 (自律飛行が可能な空飛ぶクルマを活用し、担い手不足に悩む公共交通機関を下支え =マイカーがなくても活動機会が損なわれることなく、誰もが住み慣れた地域で豊かさを 実感できる山梨の実現)

1) 本業務の概要

2) 山梨らしいコンセプトづくりのための基礎調査等の実施結果

>>> 3 山梨県版空飛ぶクルマ社会実装に向けた将来ビジョン

4) おわりに



「リニア×空飛ぶクルマによる新たな価値創造」と「地域交通課題の解決」を図るべく、 観光・ビジネス・地域の移動・交通手段として空飛ぶクルマを利活用する将来像を想定

山梨県における空飛ぶクルマの利活用の方向性

リニア×空飛ぶクルマによる新たな価値創造 ~新たな移動・交通手段としての活用~



観光に際しての移動・交通手段として

リニア中央新幹線等で山梨県を訪れる 観光客向けの、新たな県内観光地への 移動手段としての利活用等



ビジネス目的の移動・交通手段として

リニア中央新幹線等で山梨県を訪れる出張者や 県内のビジネスパーソンの、ビジネス目的の 移動・交通手段としての利活用等

山梨県内におけるアクセス性の向上 (=山梨県を訪れた人の各地への移動・交通手段)

地域交通課題の解決

~地域の移動・交通手段としての活用~



地域住民の移動・交通手段として

交通不便地域をはじめとする住民の、 日々の移動・生活を支える 移動・交通手段としての利活用等

地域としての魅力・競争力の向上 -

~ 開(甲斐)の国から空を駆ける~

空飛ぶクルマの利活用を通じ、"特に山梨県内における移動の利便性"を向上させることで、地域社会・暮らしの維持・向上、経済活性化を図る

1) 本業務の概要

2) 山梨らしいコンセプトづくりのための基礎調査等の実施結果

3) 山梨県版空飛ぶクルマ社会実装に向けた将来ビジョン



前段までの調査・検討結果等を取り纏めたパンフレットを作成。(3月頃を目途に公開予定) 是非ご覧ください。

パンフレットの概要<山梨県における「空の移動革命」実現に向けて>



<パンフレットの位置付け>

県民や県内事業者等の皆様に、 山梨県において空飛ぶクルマが社会実装された際に もたらされる、生活の変化や関連するビジネスの 可能性について、わかりやすくお伝えするために作成

<パンフレットの構成>

- ・はじめに
- 空飛ぶクルマとは?
- 国内外の空飛ぶクルマの 社会実装に向けた取組の動向
- なぜ山梨県で空飛ぶクルマの実現を目指すのか?
- 将来的な空飛ぶクルマの利活用の世界観
- 山梨県における空飛ぶクルマの ユースケース・利活用の広がりの世界観
- おわりに

Deloitte.

デロイトトーマッグループは、日本におけるデロイトアジア パシフィック リミテッドおよびデロイトネットワークのメンバーであるデロイトトーマッ合同会社ならびにそのグループ法人(有限責任監査法人トーマッ、デロイトトーマッコンサルティング合同会社、デロイトトーマッファイナンシャルアドバイザリー合同会社、デロイトトーマッ税理士法人、DT弁護士法人およびデロイトトーマッグループ合同会社を含む)の総称です。デロイトトーマッグループは、日本で最大級のプロフェッショナルグループのひとつであり、各法人がそれぞれの適用法令に従い、監査・保証業務、リスクアドバイザリー、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザリー、税務、法務等を提供しています。また、国内約30都市に約1万7千名の専門家を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はデロイトトーマッグループWebサイト(www.deloitte.com/jp)をご覧ください。

Deloitte(デロイト)とは、デロイトトウシュトーマッリミテッド("DTTL")、そのグローバルネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびそれらの関係法人(総称して"デロイトネットワーク")のひとつまたは複数を指します。DTTL(または"Deloitte Global")ならびに各メンバーファームおよび関係法人はそれぞれ法的に独立した別個の組織体であり、第三者に関して相互に義務を課しまたは拘束させることはありません。DTTLおよびDTTLの各メンバーファームならびに関係法人は、自らの作為および不作為についてのみ責任を負い、互いに他のファームまたは関係法人の作為および不作為について責任を負うものではありません。DTTLはクライアントへのサービス提供を行いません。詳細は www.deloitte.com/jp/about をご覧ください。デロイトアジア パシフィック リミテッドはDTTLのメンバーファームであり、保証有限責任会社です。デロイトアジア パシフィック リミテッドのメンバーおよびそれらの関係法人は、それぞれ法的に独立した別個の組織体であり、アジア パシフィックにおける100を超える都市(オークランド、バンコク、北京、ベンガルール、ハノイ、香港、ジャカルタ、クアラルンプール、マニラ、メルボルン、ムンパイ、ニューデリー、大阪、ソウル、上海、シンガポール、シドニー、台北、東京を含む)にてサービスを提供しています。

Deloitte(デロイト)は、監査・保証業務、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザリー、リスクアドバイザリー、税務、法務などに関連する最先端のサービスを、Fortune Global 500®の約9割の企業や多数のプライベート(非公開)企業を含むクライアントに提供しています。デロイトは、資本市場に対する社会的な信頼を高め、クライアントの変革と繁栄を促し、より豊かな経済、公正な社会、持続可能な世界の実現に向けて自ら率先して取り組むことを通じて、計測可能で継続性のある成果をもたらすプロフェッショナルの集団です。デロイトは、創設以来175年余りの歴史を有し、150を超える国・地域にわたって活動を展開しています。"Making an impact that matters"をパーパス(存在理由)として標榜するデロイトの約415,000名の人材の活動の詳細については、(www.deloitte.com)をご覧ください。

本資料は皆様への情報提供として一般的な情報を掲載するのみであり、DTTL、そのグローバルネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびそれらの関係法人が本資料をもって専門的な助言やサービスを提供するものではありません。皆様の財務または事業に影響を与えるような意思決定または行動をされる前に、適切な専門家にご相談ください。本資料における情報の正確性や完全性に関して、いかなる表明、保証または確約(明示・黙示を問いません)をするものではありません。またDTTL、そのメンバーファーム、関係法人、社員・職員または代理人のいずれも、本資料に依拠した人に関係して直接または間接に発生したいかなる損失および損害に対して責任を負いません。



IS 669126 / ISO 27001



BCMS 764479 / ISO 22301

IS/BCMSそれぞれの認証範囲は こちらをご覧ください http://www.bsigroup.com/cli entDirectory

Member of

Deloitte Touche Tohmatsu Limited